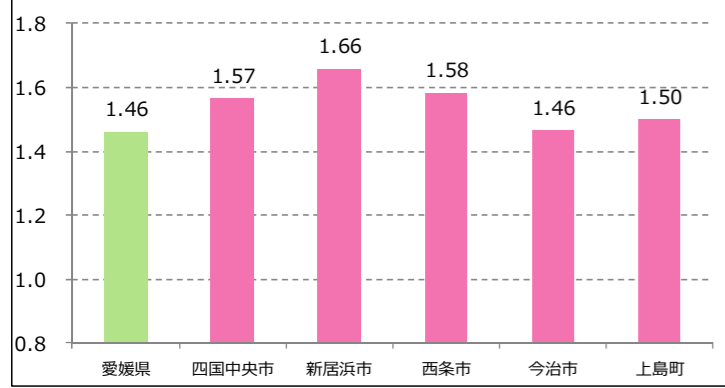




合計特殊出生率（2012～16年平均）



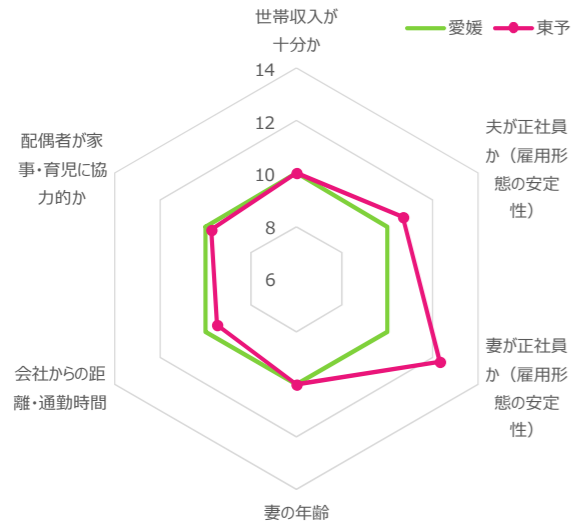
年齢階級別出生率（女性人口千対）

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳
愛媛県	5.4	39.9	97.3	95.8	45.5	8.3	0.2
四国中央市	6.3	46.7	111.3	98.5	42.6	7.9	0.1
新居浜市	6.8	51.4	108.5	106.1	46.1	8.2	0.2
西条市	6.9	50.5	108.6	102.1	46.0	8.0	0.1
今治市	6.3	48.0	97.9	91.8	41.9	6.8	0.2
上島町	6.0	48.2	98.1	91.7	41.9	7.0	0.2

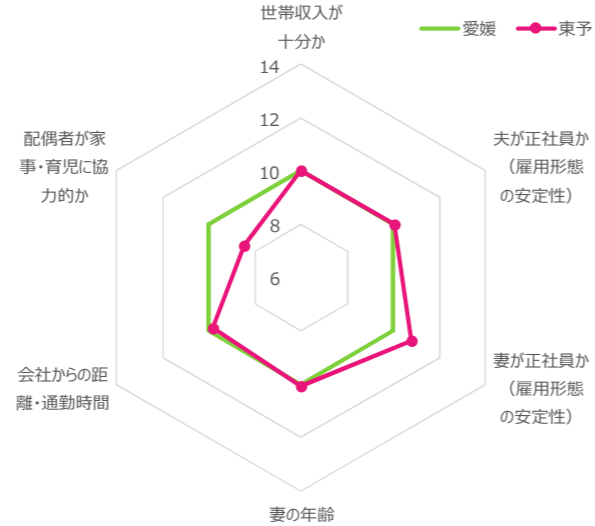
- 合計特殊出生率は5市町とも県平均を上回っている。これは主に20～24歳、25～29歳、30～34歳の年齢階級の出生率が高いためと考えられる。20～34歳の出生率の高さは、比較的婚姻年齢が早く、女性の有配偶率が高いことが要因と考えられる。
- なお、年齢階級別出生率では、35～39歳以上で出生率の際立った高さはみられない。
- 東予地域は製造業が盛んなことから、地元の若者が地元の企業に就職するサイクルができてきているほか、20代女性の有配偶率、有配偶出生率が他の地域より高い傾向がみられる。

子どもを産むときに重視したこと（アンケート結果）

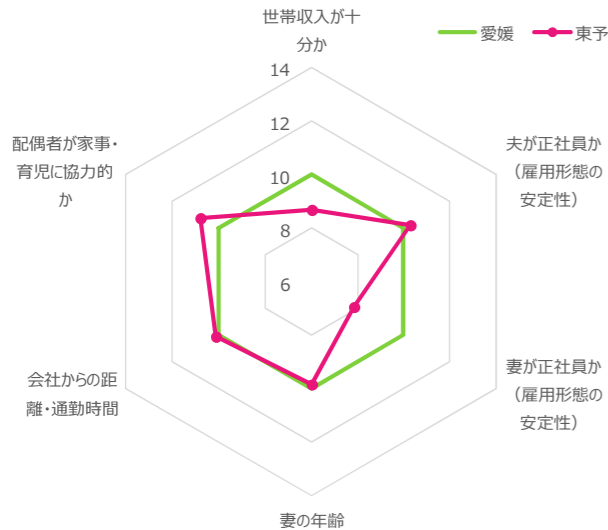
子どもが1人の人が産むときに重視したこと



子どもが2人の人が産むときに重視したこと



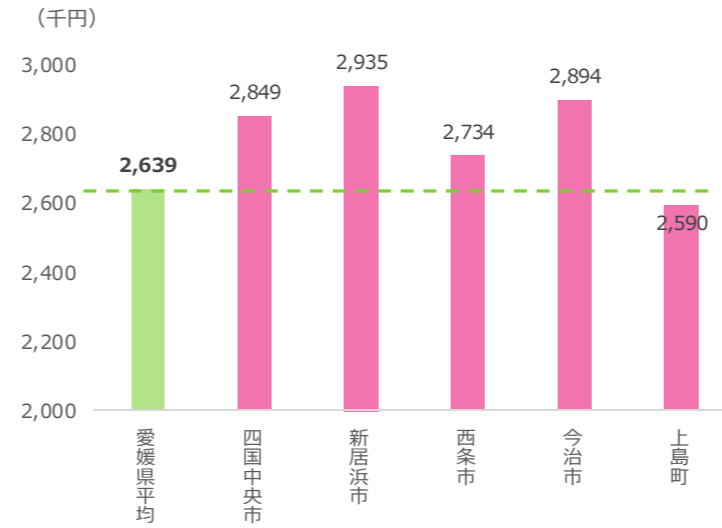
子どもが3人以上いる人が産むときに重視したこと



アンケートにみる東予の特徴

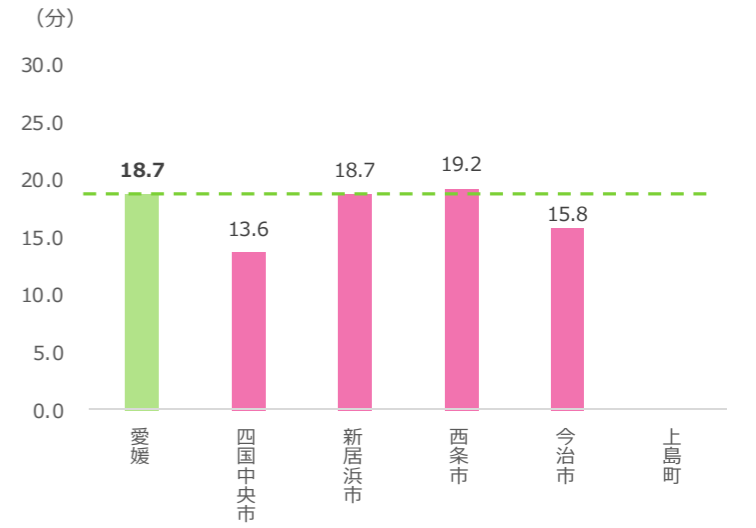
- 「世帯収入」…4市で課税所得が県平均を上回っており、重視しない傾向にある
- 「夫が正社員」…男性の正規従業員割合が5市町とも県平均を上回っており、子どもが2人・3人以上の人はあまり重視していない傾向にある
- 「妻が正社員」…子どもが1人・2人の人は重視しているが、3人以上の人では重視する割合が大きく低下している
- 「妻の年齢」…全般に平均出産年齢が低く、特に子どもが1人の人は県平均を下回り、重視する割合は県平均並み
- 「通勤距離・時間」…通勤時間は県平均と同程度で、重視する傾向にない
- 「配偶者の家事・育児協力」…子どもが2人の人は重視しないが、3人以上になると重視する割合が高くなっている

課税所得



資料：総務省 平成27年度「市町村税課税状況等調」

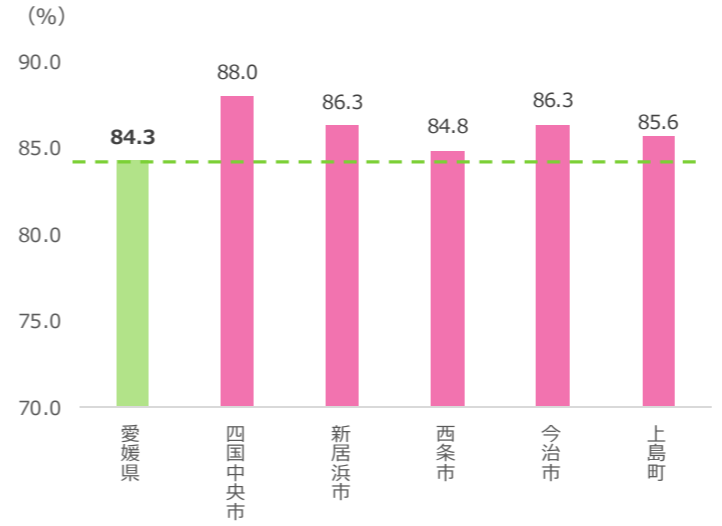
通勤時間



資料：総務省 平成25年「住宅・土地統計調査」

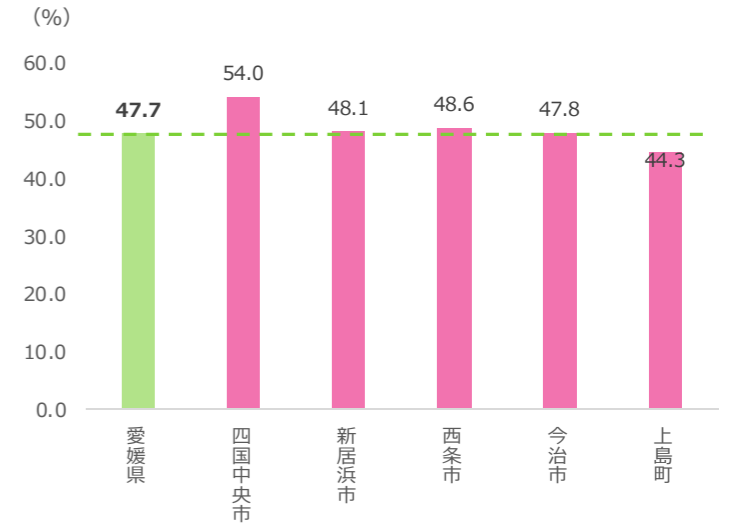
正規従業員割合

男性



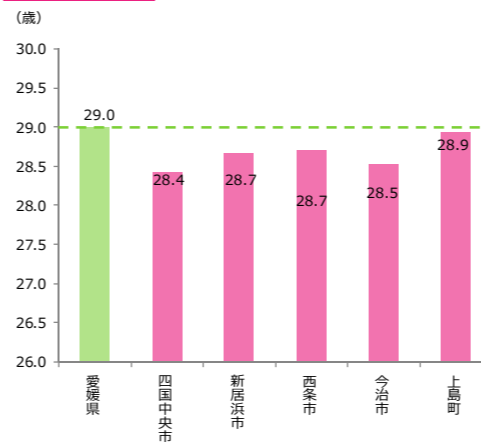
資料：総務省 平成27年「国勢調査」

女性



第1子・第2子・第3子以上の母親の平均出産年齢（2012～16年平均）

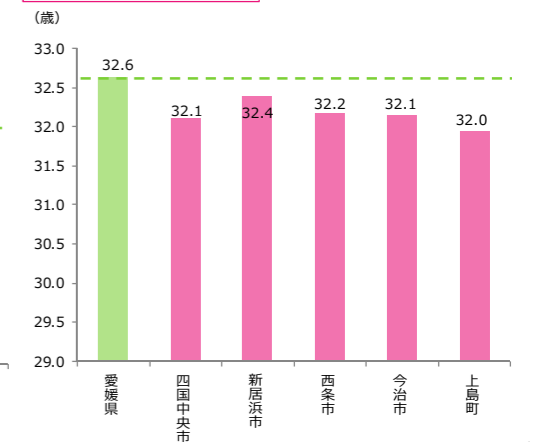
第1子



第2子



第3子以上





四国中央市

- 合計特殊出生率は県平均を 0.11 上回り、県内で 5 番目に高い。
- グラフ 2「有配偶出生率の推移」をみると、この 10 年右肩上がりである。
- P.44「年齢階級別出生率」をみると、20～24 歳、25～29 歳、30～34 歳までの各年齢階級で総じて高く、特に 25～29 歳が県平均を 14.0 ポイント上回っているなど、20 代での結婚、出産が合計特殊出生率に大きく貢献していると言える。
- 右ページの「人口」をみると、20 代の男性人口が女性人口を上回っている。女性有配偶率の高さの背景の 1 つには、この人口構成が挙げられる。

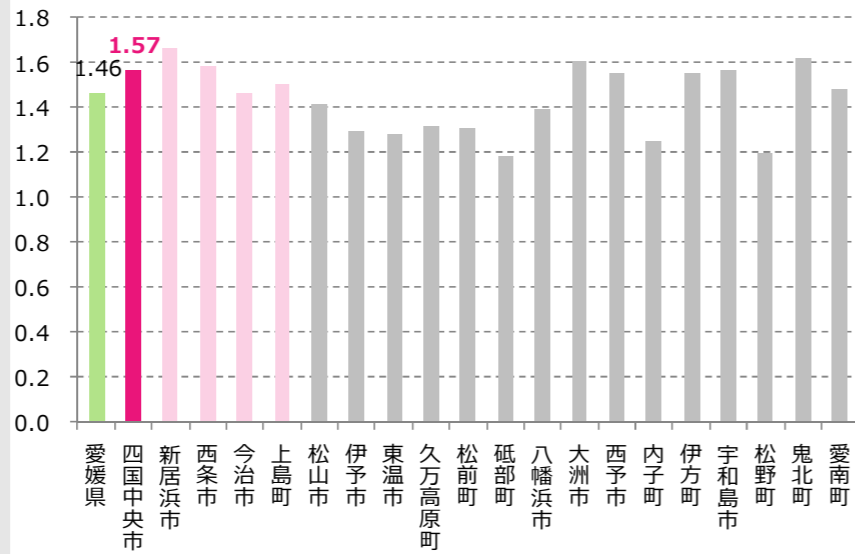
合計特殊出生率
(2012～2016 年平均)

1.57

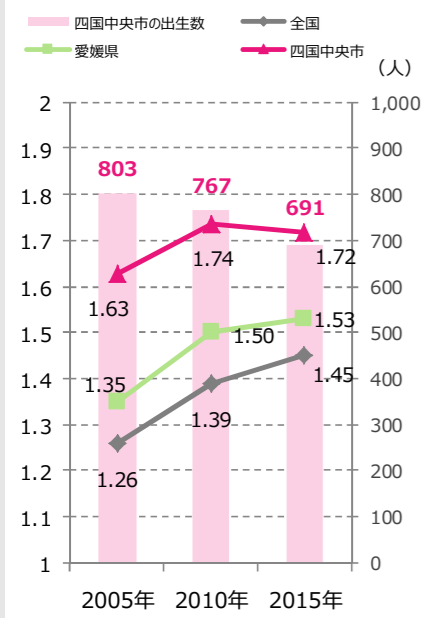
愛媛県との差 +0.11/5 位

バイズ推定値

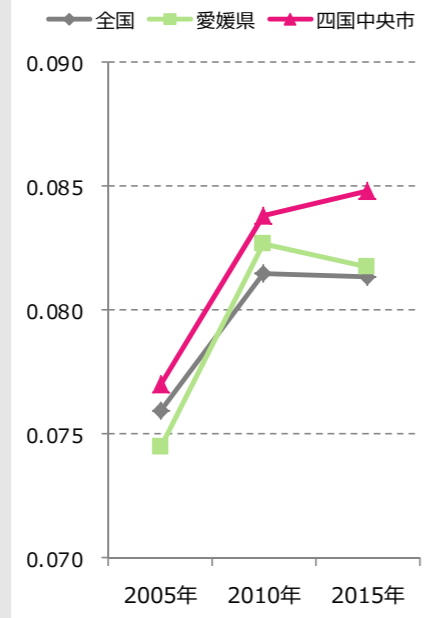
1.57



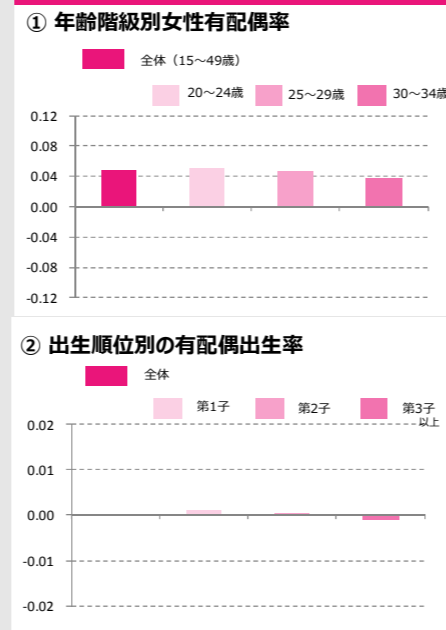
1. 合計特殊出生率の推移 (バイズ推定値)



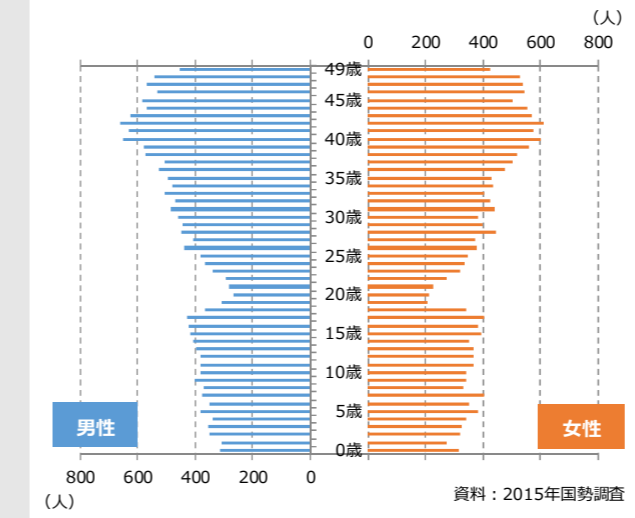
2. 有配偶出生率の推移 (バイズ推定値)



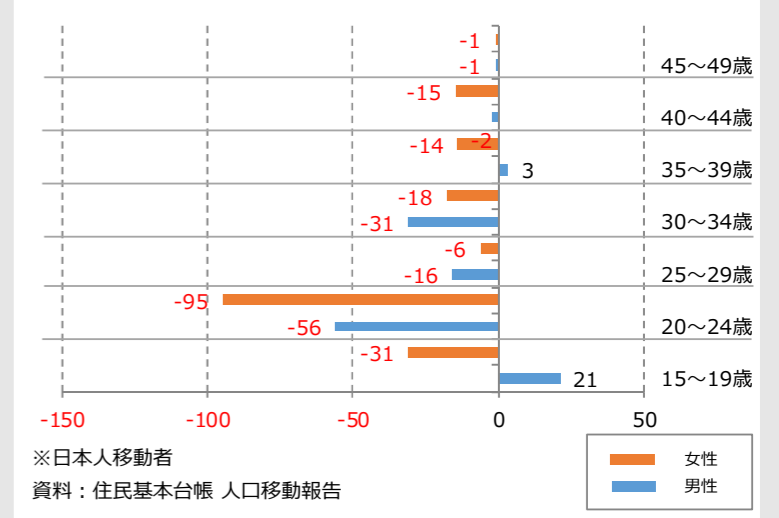
3. 愛媛県との差



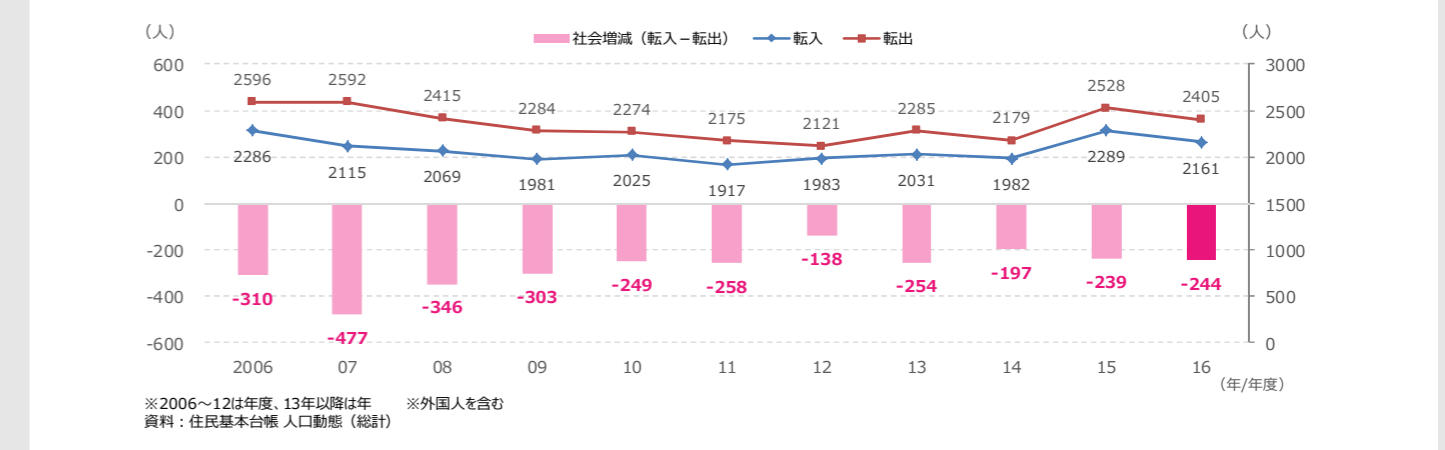
■人口



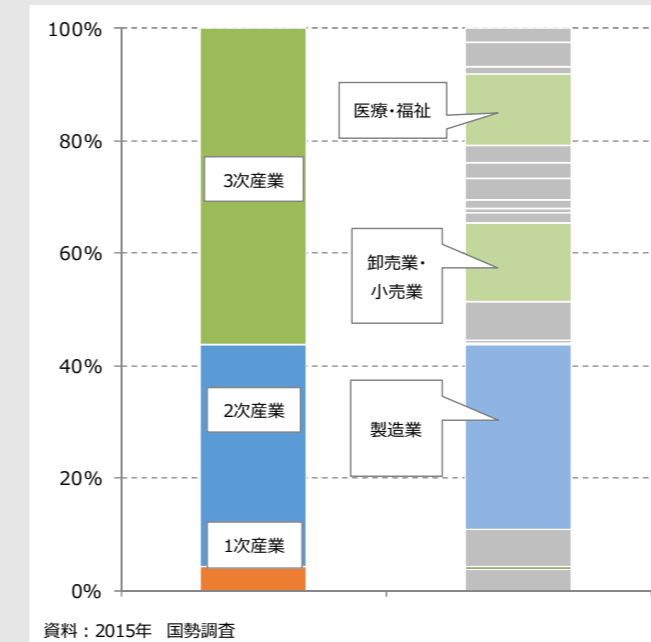
■年齢、男女別社会増減 (2017年)



■社会増減推移



■産業別従事者



■コラム

紙のまちならではの子育て応援

四国中央市では、平成 23 年度から「紙のまちの子育て応援」として、1 歳になるまでの子どもがいる家庭に乳児紙おむつ引換券を支給している。

この事業は、市内に立地する大王製紙株式会社、ユニ・チャーム株式会社と行政が協力した全国初の取組みで、「きみはまちのたから 子育て応援券」の名称には、「このまちに生まれてきてくれてありがとう」という祝福と感謝の気持ちに加え、「みんなで子育てを応援しています」というメッセージが込められており、地元企業をはじめ多くの人に支えられていることを忘れず、大いに子育てを楽しんでほしいとのこと。

新居浜市

- 合計特殊出生率は県内で最も高い。ピークの 2010 年よりは下がっているものの、全国と比較しても高い水準である。
- グラフ3「①年齢階級別女性有配偶率」はすべての年齢階級で県平均よりも高く、特に 25～29 歳は 0.069 ポイントと大きく上回っている。
- P.44「年齢階級別出生率」をみると、40 歳までの出生率はすべて県平均より高い。
- 女性の平均初婚年齢（2014 年）は 28.2 歳と県平均より 0.4 歳若く、第 1 子平均出産年齢（P.44 参照）は 28.7 歳で県平均より 0.3 歳若いことから、2 人目以上も生みやすいのではないかと。
- 地場産業が盛んであり、地元で就職する若者も多いことから、自然と早めの結婚・出産という流れができていないのではないかと。

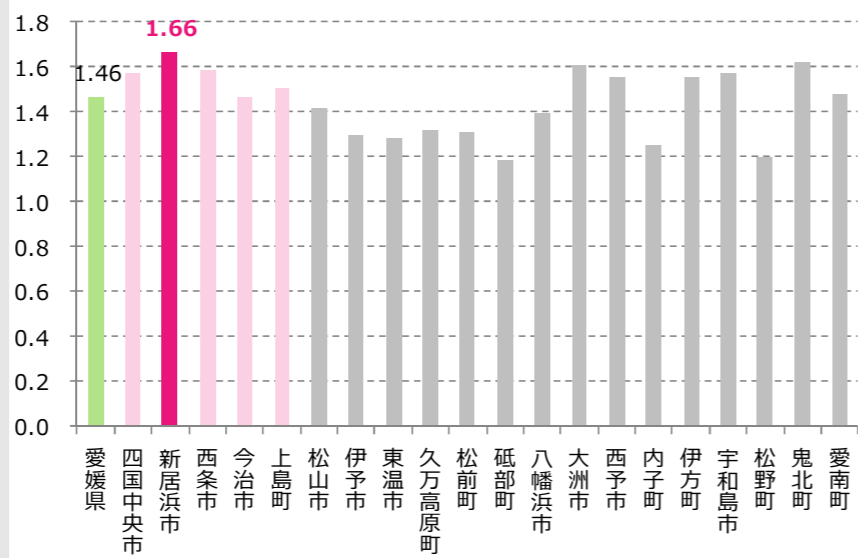
合計特殊出生率
(2012～2016 年平均)

1.66

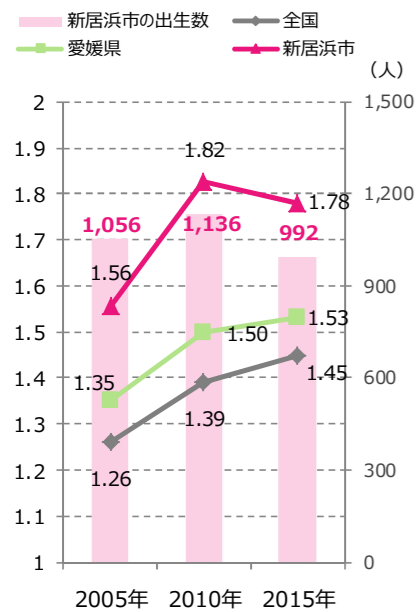
愛媛県との差 +0.20/1 位

ベイズ推定値

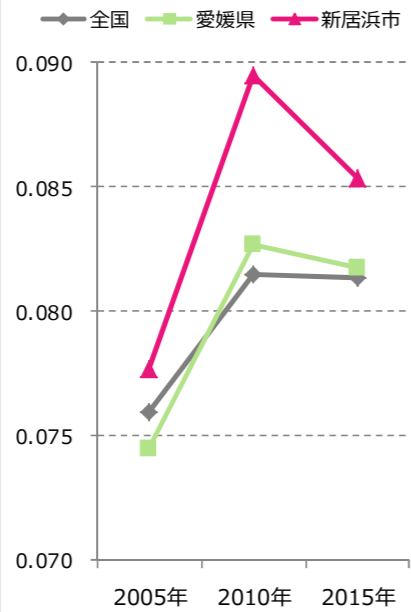
1.64



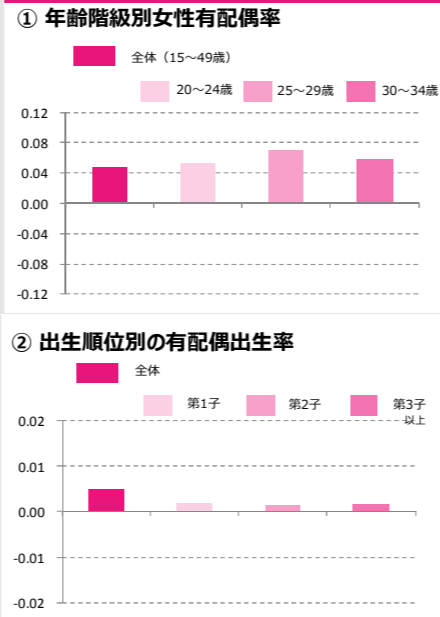
1. 合計特殊出生率の推移 (ベイズ推定値)



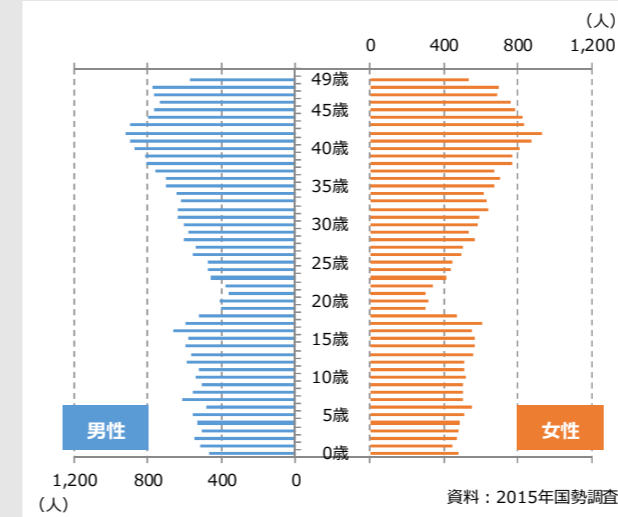
2. 有配偶出生率の推移 (ベイズ推定値)



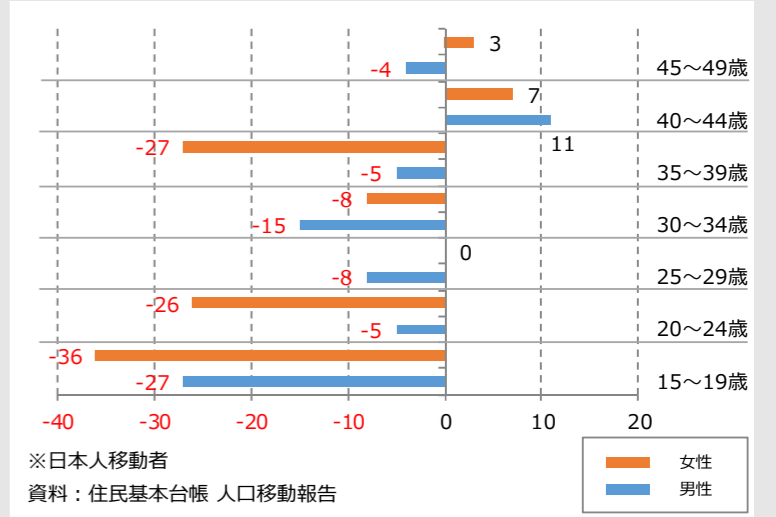
3. 愛媛県との差



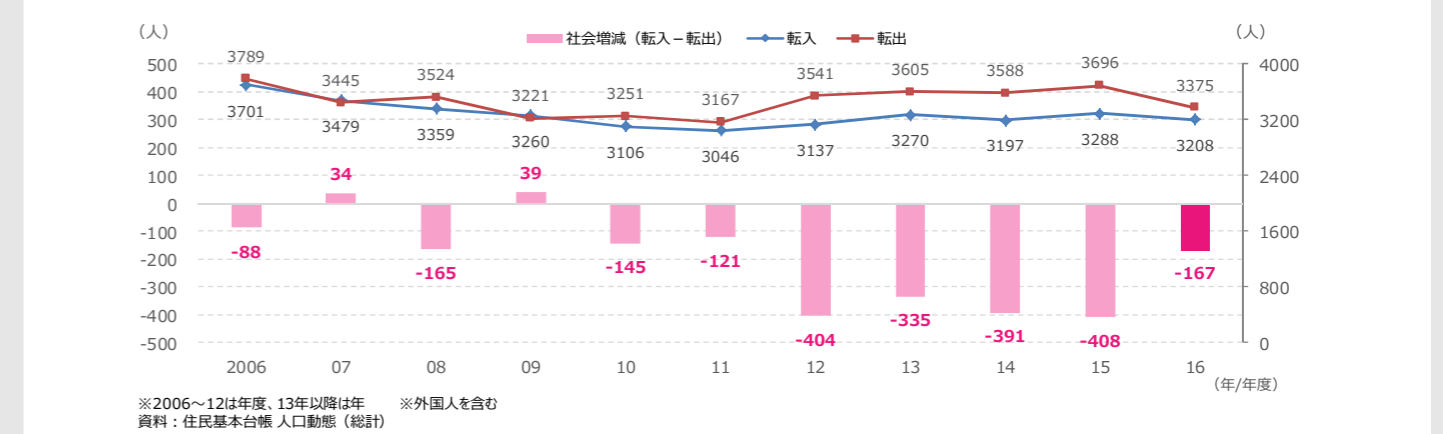
■人口



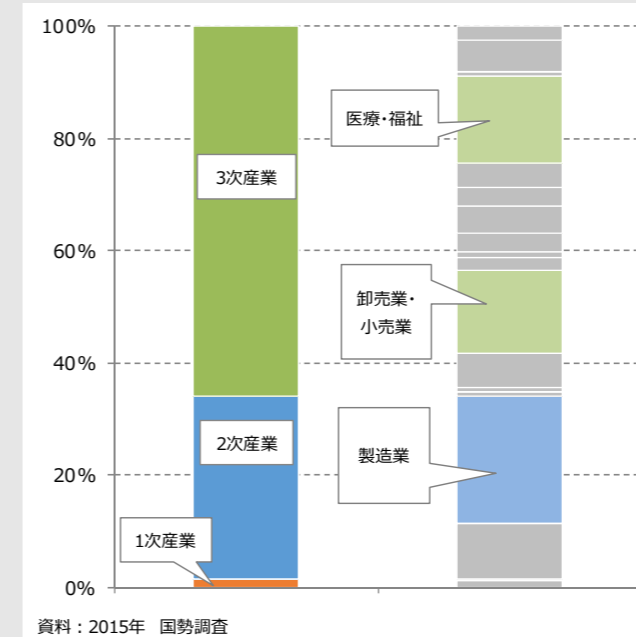
■年齢、男女別社会増減 (2017年)



■社会増減推移



■産業別従事者



■コラム

世代をつなぐ孫育て応援ブック まごにて

新居浜市の孫育て応援ブック「まごにて」には、昔からの変わらぬ知恵+新しい考えを織り込んだ便利グッズの紹介や、孫のお出かけ場所、家庭でできる事故防止策などの情報が掲載されている。また、地域で活躍できる祖父母世代の人材養成などを目的とした、『イクじいイクばあ応援事業』の取り組みも。

新生児・育児支援訪問

保健師・看護師・保育士等が家庭訪問をして相談に応じ、必要に応じてエンゼルヘルパー派遣事業を紹介するなど、育児のサポートが得られるよう手厚い取り組みも実施。

※エンゼルヘルパー派遣事業
産後6カ月まで（多胎児は12カ月まで）で日中家族等の援助がなく、家事・育児が困難な家庭にヘルパーを派遣
(利用者負担：500円/時間)



西条市

- 合計特殊出生率は県平均を 0.12 上回り、県内 4 位となっている。
- グラフ 3「①年齢階級別女性有配偶率」は 20～24 歳が県平均よりも 0.052 ポイント高いのをはじめ、すべての年齢階級で県平均を上回っている。
- P.44「年齢階級別出生率」をみると、40 歳までの出生率も高い。
- 一方で、グラフ 3「②出生順位別の有配偶出生率」はほぼ県平均と同程度となっている。
- 新居浜市と同様、地場産業が盛んであり、地元で就職する若者も多いことから、早めの結婚・出産につながっているのではないかと推察される。女性の平均初婚年齢（2014 年）は県平均よりも 0.7 歳若い 27.9 歳、第 1 子平均出産年齢（P.44 参照）は 0.3 歳若い 28.7 歳となっている。

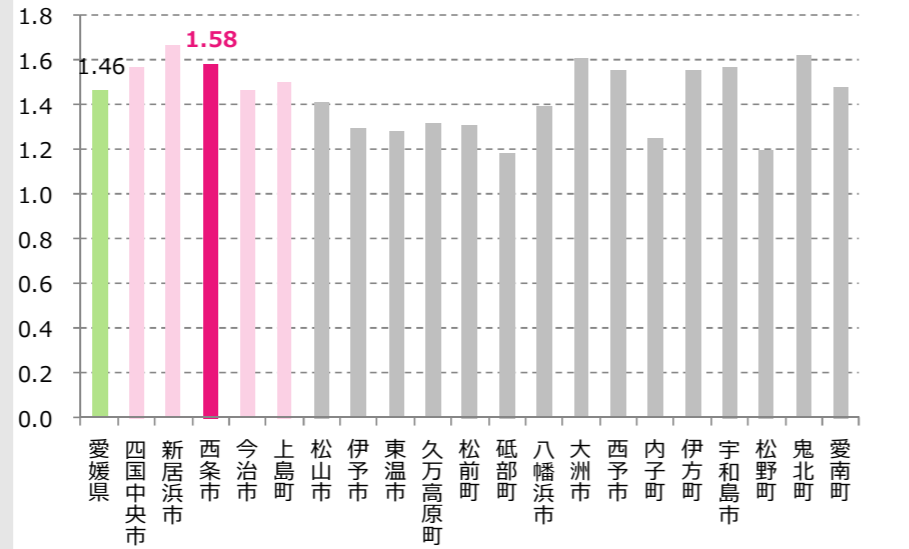
合計特殊出生率
(2012～2016 年平均)

1.58

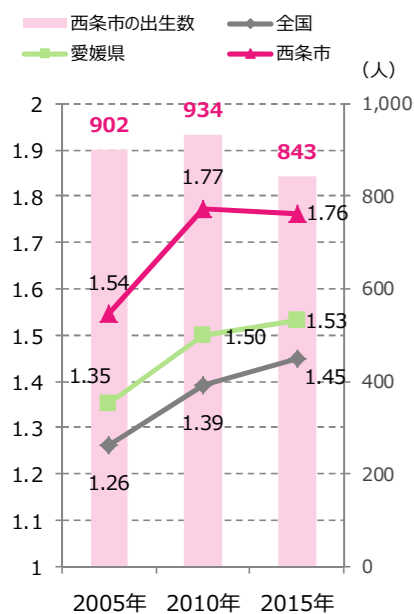
愛媛県との差 +0.12/4 位

ベイズ推定値

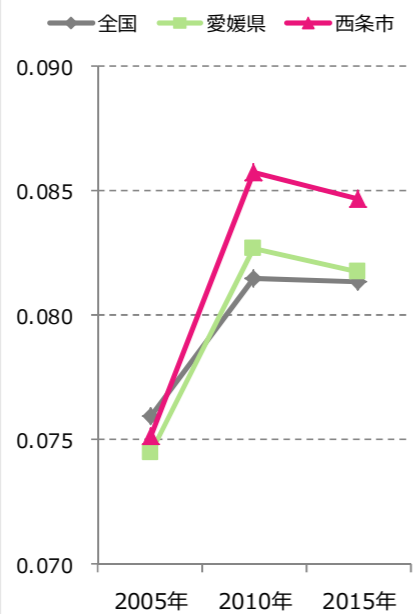
1.61



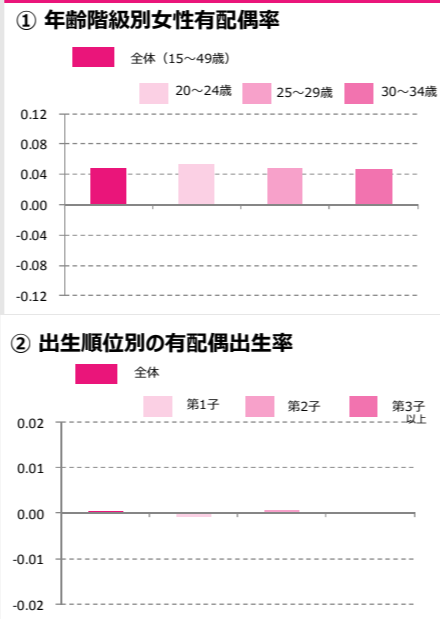
1. 合計特殊出生率の推移 (ベイズ推定値)



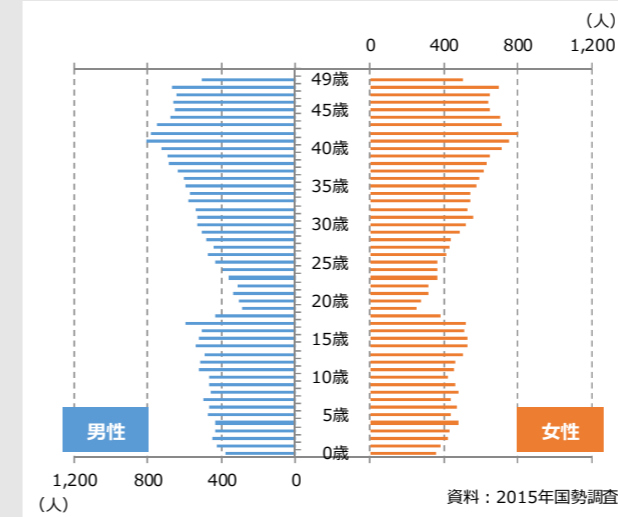
2. 有配偶出生率の推移 (ベイズ推定値)



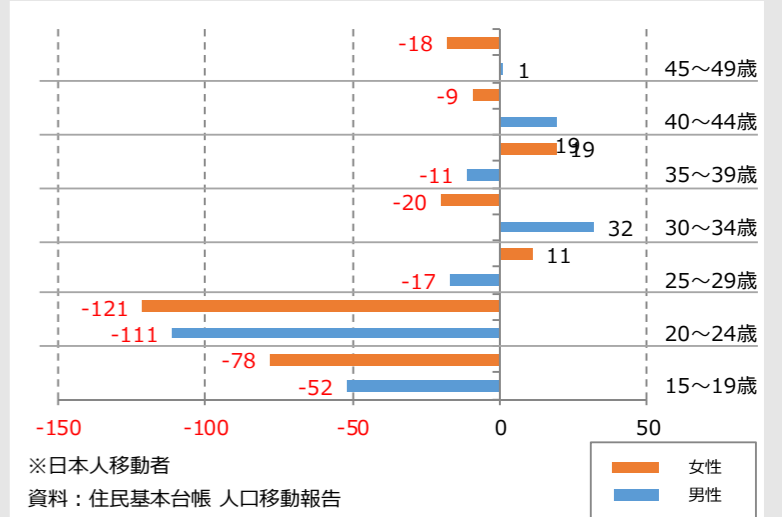
3. 愛媛県との差



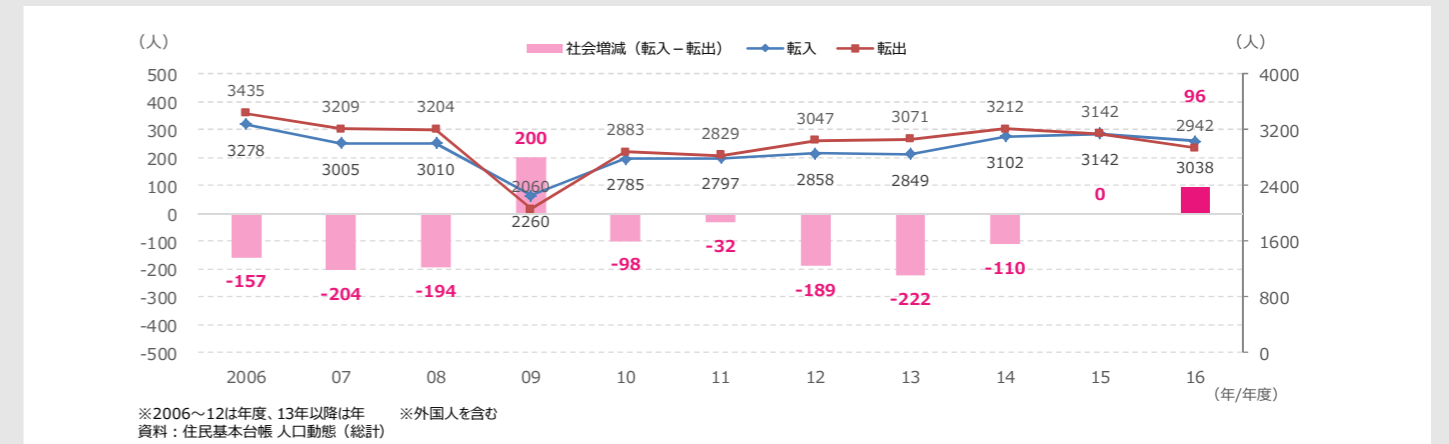
■人口



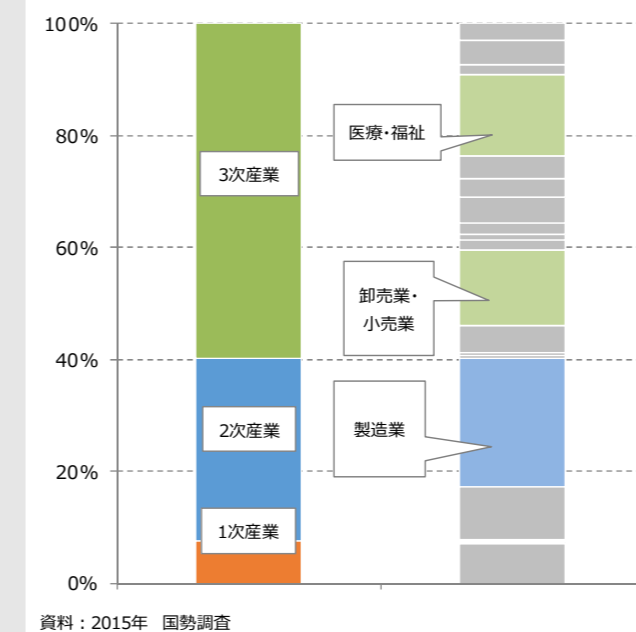
■年齢、男女別社会増減 (2017年)



■社会増減推移



■産業別従事者



■子ども・子育て支援事業計画

●● 基本理念 ●●

子どもと地域が伸び伸び育つまちづくりを目指して

●● 基本目標 ●●

- 1 幼児期の教育・保育の充実
- 2 妊娠・出産・子育てに至る切れ目のない支援
- 3 子どもの心身の健全な成長に資する教育環境の整備
- 4 子育てを支援する生活環境の整備と子どもの安全の確保
- 5 職業生活と家庭生活との両立 (ワーク・ライフ・バランス) の推進
- 6 専門的な知識及び技術を要する支援の推進
- 7 経済的な支援の推進



今治市

- 合計特殊出生率 1.46 は県と同じで、11 位となっている。
- グラフ 3「①年齢階級別女性有配偶率」をみると、20～24 歳が県平均よりも 0.045 ポイント、25～29 歳でも 0.018 ポイント高いが、30～34 歳では県平均を下回っている。
- P.44「年齢階級別出生率」をみると、30 歳以降の出生率も低い。
- 若い世代の配偶率は高いものの、東予の他市と比較すると出生率は高くなく、結婚はするが子どもをあまり生まないように見受けられる。さらなる出産のための環境整備や、子育て支援策が求められるのではないか。
- 東予の他市に比べると 20 歳前後の人口流出が多く、地元定着率の向上も求められる。

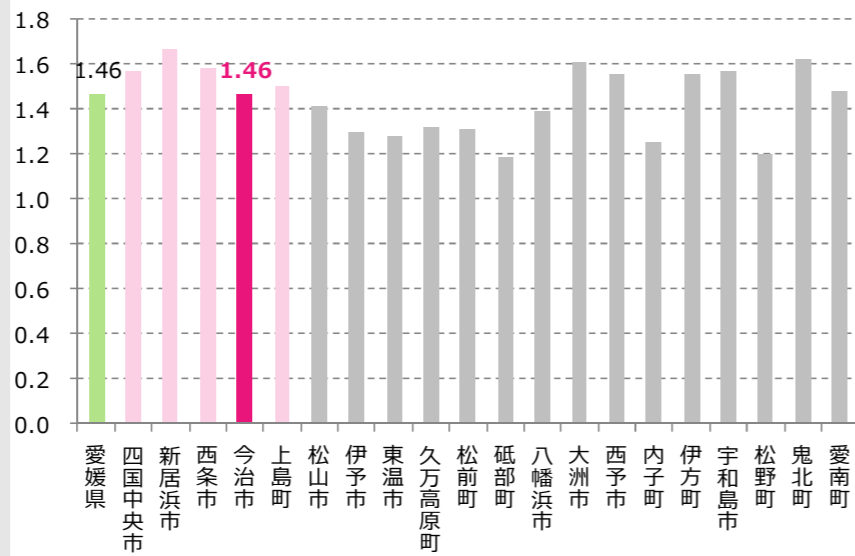
合計特殊出生率
(2012～2016 年平均)

1.46

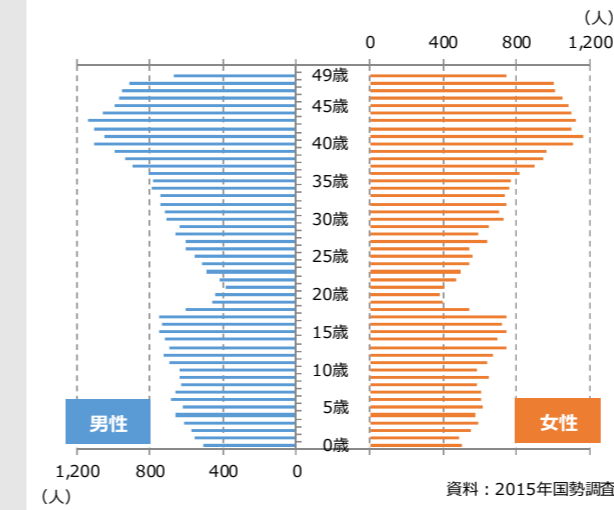
愛媛県との差 ±0.00/11 位

バイズ推定値

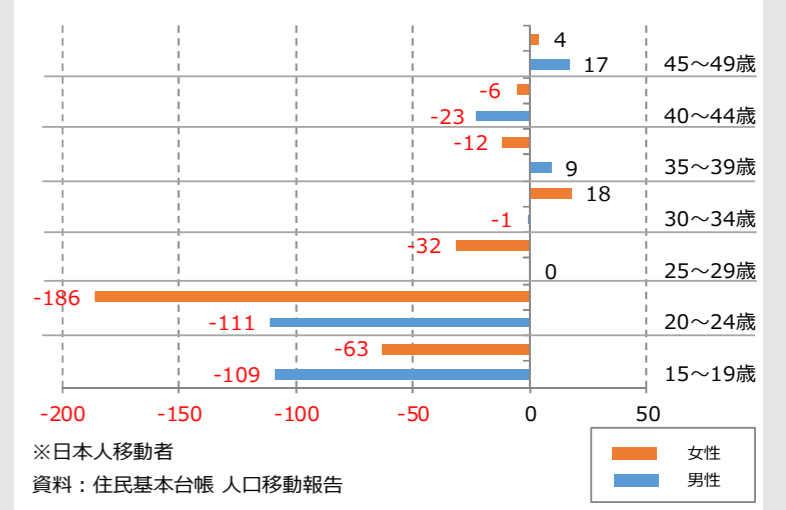
1.46



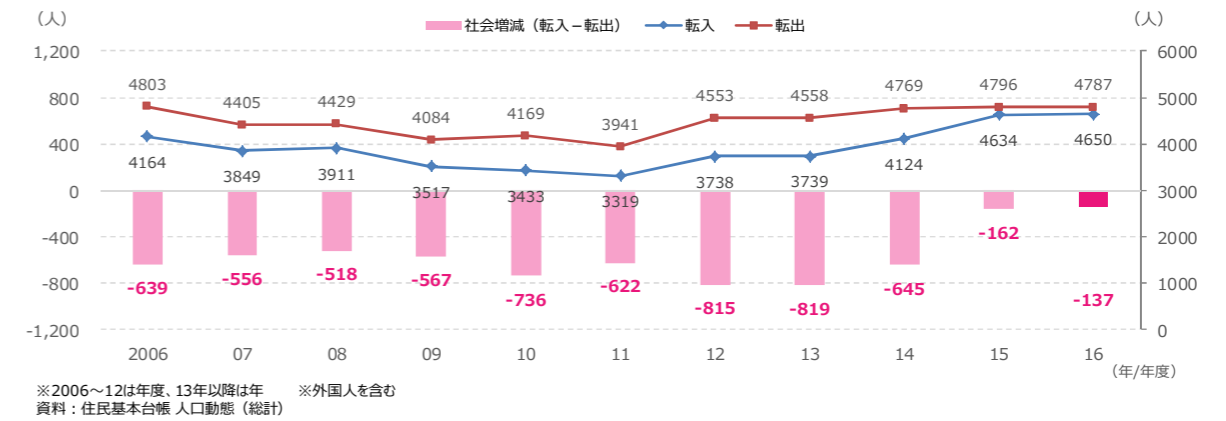
■人口



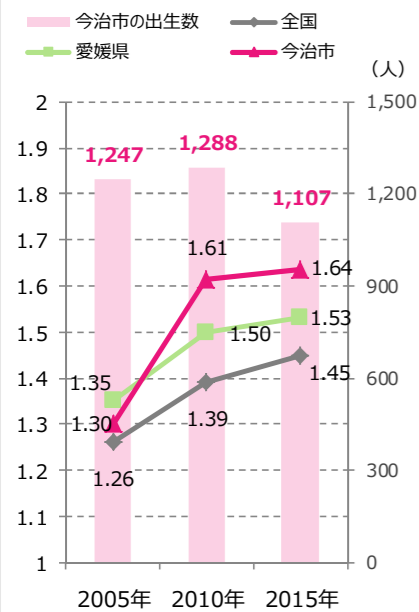
■年齢、男女別社会増減（2017年）



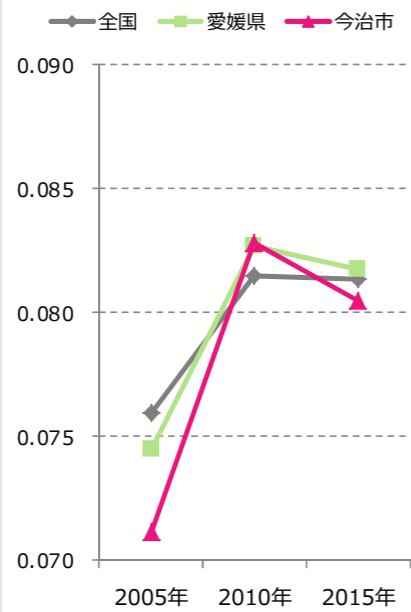
■社会増減推移



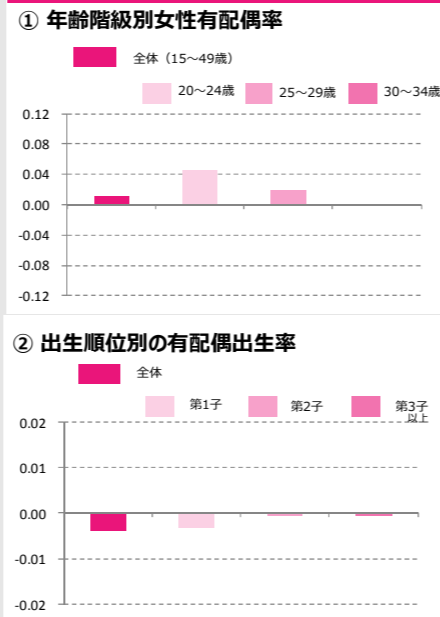
1. 合計特殊出生率の推移 (バイズ推定値)



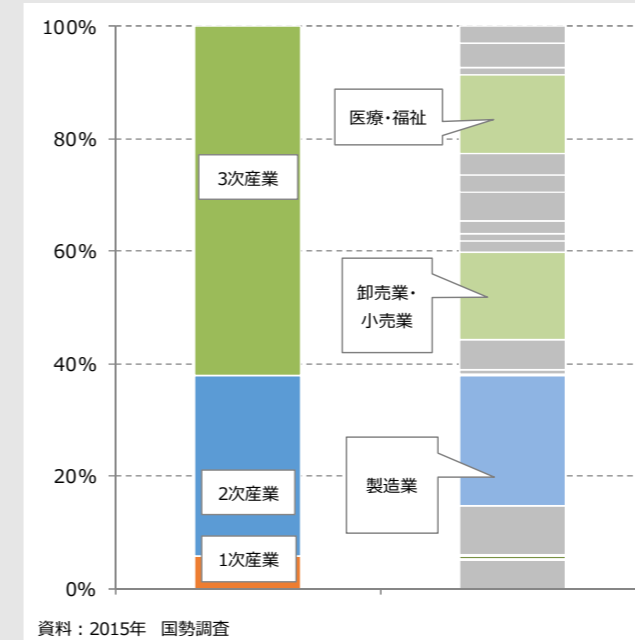
2. 有配偶出生率の推移 (バイズ推定値)



3. 愛媛県との差



■産業別従事者



■子ども・子育て支援事業計画

- 基本理念 ●●
- みんなで育つ・育てるあした(次世代)のいまばりへ
- 基本目標 ●●
- 1 子育て家庭を支える教育・保育事業の提供
 - 2 子育て支援の充実
 - 3 仕事と家庭の両立
 - 4 教育環境の充実
 - 5 心の健やかな成長のために
 - 6 要保護児童への対応
 - 7 健康であるために
 - 8 子どもを守るために



上島町

- 合計特殊出生率は県平均を上回り、9位となっている。
 - グラフ3「①年齢階級別女性有配偶率」は、20～24歳が県平均よりも0.104大きく上回るものの、25～29歳、30～34歳ではいずれも県平均より低い。
 - グラフ3「②出生順位別の有配偶出生率」のうち、第1子、第2子は県平均を下回っている。
 - ただし、グラフ1「合計特殊出生率の推移」をみると、出生数そのものは維持されている（2005年30人→2010年22人→2015年30人）。
 - 右ページの「社会増減推移」をみると、近年は転入が転出を上回る傾向がみられる。
- *人口が少ない市町では年によってブレが出るため（偶然変動）、一概に比較はできないことに留意する必要がある。

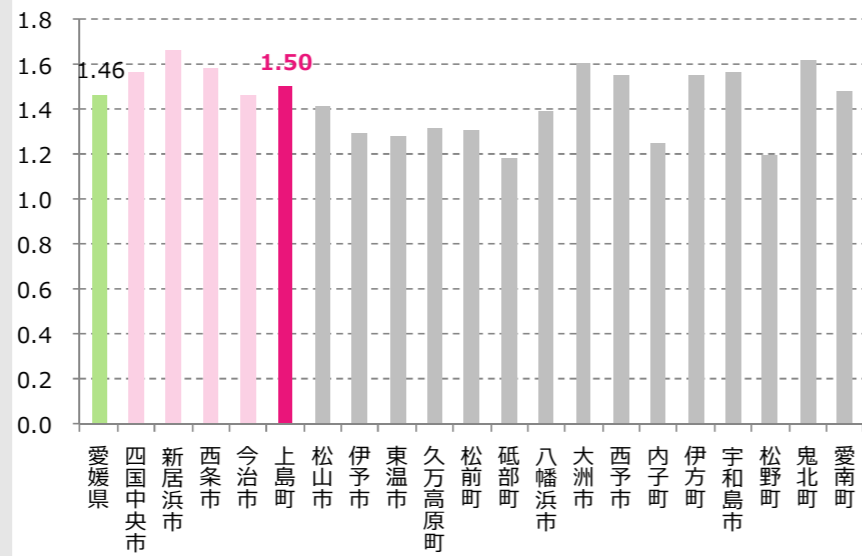
合計特殊出生率
(2012～2016年平均)

1.50

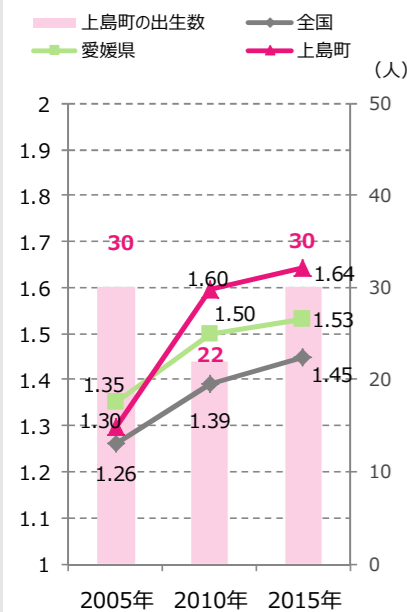
愛媛県との差 +0.04/9位

ベイズ推定値

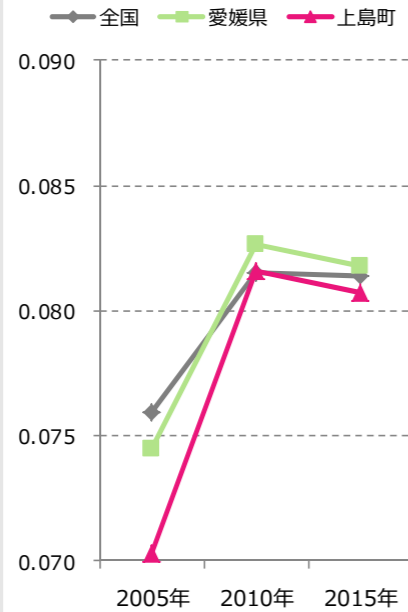
1.47



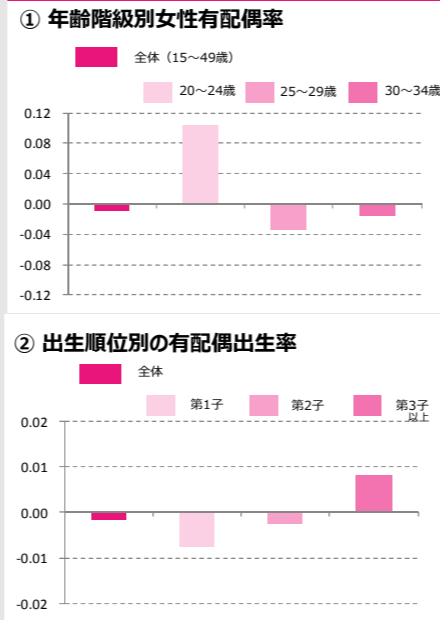
1. 合計特殊出生率の推移 (ベイズ推定値)



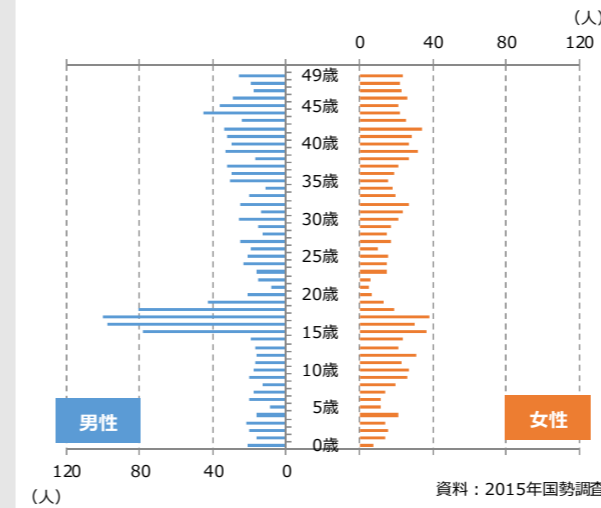
2. 有配偶出生率の推移 (ベイズ推定値)



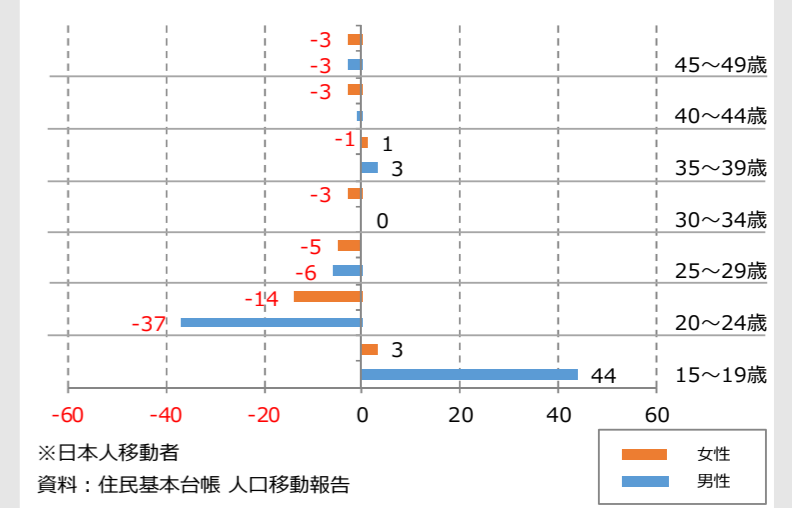
3. 愛媛県との差



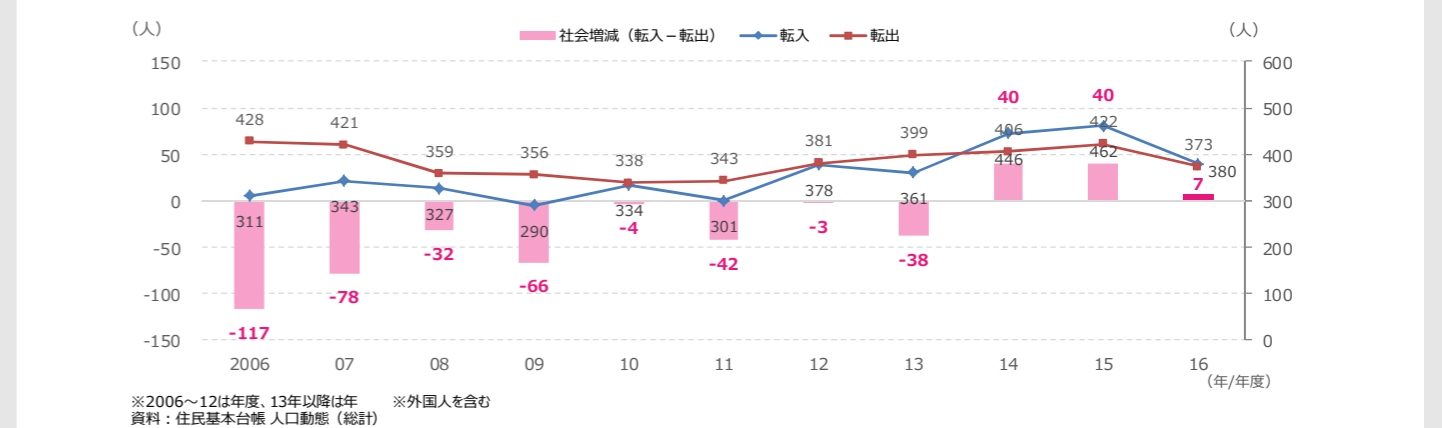
■人口



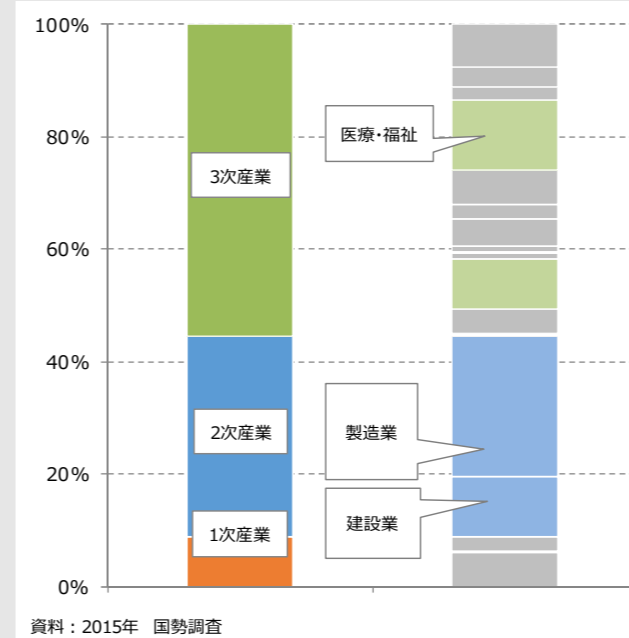
■年齢、男女別社会増減 (2017年)



■社会増減推移



■産業別従事者



■子ども・子育て支援事業計画

●● 基本理念 ●●

笑顔で暮らせる上島町をめざして

●● 基本目標 ●●

- 1 多様なニーズに応じた保育・教育の充実
- 2 保健・医療・福祉の連携による子育て・子育て支援
- 3 地域をあげての子育て環境の整備
- 4 子育て・子育てに関する意識啓発の推進